Press Release
October 2026

arflex 2026-27 New Collectionを発表

株式会社アルフレックスジャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：保科卓）は、
2026年10月1日（木）、arflex（アルフレックス）の最新コレクションを発表・発売します。

1969年の創業以来、当社はタイムレスなデザインと日本の暮らしに根ざした確かな品質を大切にしてきました。原点にあるのは、創業者・保科正がイタリアでの生活と家具づくりを通して持ち帰った、人間らしく豊かに暮らすという思想です。その価値観を日本の住環境や生活文化に合わせて育みながら、半世紀以上家具づくりを続けてきました。

私たちの暮らしは、かつてないほど便利になり、物質的にも豊かになりました。一方で、社会や生活環境の変化、絶え間なく情報に触れる毎日の中で、心身を休める時間の大切さも増しています。住まいには、くつろぎ、自分らしく過ごせることがこれまで以上に求められています。arflexの2026-27 COLLECTIONでは「心の安らぎ」をキーワードに、住まいに必要な心地よさを見つめ直しました。新作に加え、長年愛されてきた製品の思想や特徴を受け継ぎながら、今の暮らしに合わせて再構築したアップデート製品も展開し、その考えをラインナップ全体に映し出しています。

今回のコレクションを象徴する場所として立ち返ったのが、ルーツであるイタリアの住まいから学んだarflexの思想を体現するカーサミア河口湖です。そこで感じられる「心の安らぎ」や、ゆったりと流れる時間を、都市をはじめとする日常の暮らしにも重ね合わせた空間として描くため、イタリア人建築家・デザイナー　ニコラ・ガリッツィア氏をアートディレクターに迎えました。これまでの協働を通してarflexのものづくりや思想を理解するガリッツィア氏が当社クリエイティブチームとともに「イタリア生まれ、日本育ち」というブランドのアイデンティティを表現しました。製品とビジュアル表現を通して、arflexが大切にしてきた価値に今の時代の感性を重ね、心地よい暮らしを提案します。

製品の詳細はアルフレックスジャパンのWEBサイトをご覧ください。
https://www.arflex.co.jp/2026-27collection/



01 | 9つの新製品を発表
ソファ、テーブル、チェア、シェルフなど9つの新製品を発表。新作に加え、長年愛されてきた製品の思想や特徴を受け継ぎながら、今の暮らしに合わせてアップデートしたSONARE、VITAもラインナップします

02 | ジョン・アストベリー、安本 純を新たに起用
ストックホルム拠点のジョン・アストベリーがDUNE・DITTO・ARRAYを、パリ拠点の安本 純がORTOをデザイン

03 | ニコラ・ガリッツィアが、最新コレクションのビジュアルをディレクション
撮影やスタイリング、カタログなどのビジュアル表現を担当。カーサミア河口湖を舞台に心から安らげる住まいの景色を表現

【プレスお問い合わせ先】
株式会社アルフレックスジャパン 広報・PR担当：髙野・長濱・高下・長谷川文香 〈press@arflex.co.jp〉
東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー6F Tel.03-5468-3371

DUNE デューン　Design: John Astbury / ジョン・アストベリー

砂丘を思わせる有機的なフォルムと、ゆるやかに開いたアームが印象的なソファ**DUNE**（デューン）。ストックホルムを拠点とするイギリス人デザイナー、ジョン・アストベリーとの初の取り組みから生まれました。**DUNE**のなめらかなフォルムは、空間にほどよい余白と抜けを生み、やわらかな存在感と美しいゆとりをもたらします。アームとバックレストには、リサイクル原料を51%使用したモールドウレタンを採用。モールド成形によって生まれる立体的な曲面を、背からアームへと連なる1本のパイピングが際立たせます。ユニットは、カウチアングル2サイズ（W.2060mmとW.2400mm）、両アーム1サイズ、ディープ1サイズの4種類を展開。ディープタイプは、身体を預ける向きを限定せず、足を伸ばしたり横になったりと、デイベッドのように自由な姿勢でくつろげる深い奥行きが特徴です。住まいの広さや過ごし方に応じて選べる4種類のユニットが、それぞれの暮らしに心地よい居場所をつくります。



ソファ **DUNE**〈カウチアングル〉W.2400 D.1140 H.700 SH.395mm ¥1,162,700~ コーヒーテーブル **DITTO** 520Φ H.430mm ¥191,400 スツール **ALMA** W.460 D.390 H.460mm ¥137,500~ プフ **ALMA** W.700 D.560 H.370mm ¥178,200~



ソファ **DUNE** W.2060 D.1005 H.700 SH.395mm ¥899,800~

20°のゆるやかな角度が生む、心地よい距離と余白

カウチアングルの20°のゆるやかな角度は、座った人同士が自然に向き合い、会話を楽しむときも、それぞれの時間を過ごすときも、心地よい距離感を生み出します。また、角度を持つフォルムによってソファの背後や周囲に余白が生まれ、グリーンや照明を組み合わせるなど、その余白を生かした空間づくりも楽しめます。W.2060mmはコンパクトな空間にも取り入れやすく、1台でゆるやかな変化のあるレイアウトを実現します。



DUNE デューン　Design: John Astbury / ジョン・アストベリー





ソファ **DUNE**〈ディープ〉 W.1315 D.1400 H.700 SH.395mm ¥939,400~
コーヒーテーブル **TROCADERO**〈WOOD〉W.400 D.415 H.450mm ￥235,400
コーヒーテーブル **TROCADERO**〈GLOSSY〉W.600 D.620 H.383mm ￥358,600



ソファ **DUNE** 〈両アーム〉 W.2060 D.875 H.700 SH.395mm ¥908,600~
コーヒーテーブル **TROCADERO**〈WOOD〉W.400 D.415 H.450mm ￥235,400
プフ **ALMA** W.700 D.560 H.370mm ¥178,200~

身体をやわらかく受け止める、快適な掛け心地

バックレストには柔らかなウレタンを採用し、クッションを置かなくても心地よく身体を預けられる掛け心地を追求しました。シートは、足を伸ばしたり、あぐらをかいたりと姿勢を変えながらくつろげるよう、しっかりとした安定感を保ちながら身体をやわらかく受け止めます。シワになりにくく、日常で扱いやすい点にも配慮しています。

DUNE （ソファ）

本体：合板、ウレタン（一部にリサイクル原料51%を使用したモールドウレタンを使用）、ポリエステル綿
シート：合板、ウレタン、ポリエステル綿
クッション：再生マイクロファイバー（再生素材50%使用）、再生ポリエステル生地
※張り地はファブリックのみ

サイズ・価格

カウチアングル（右・左共通）	W.2060 D.1005 H.700 SH.395mm W.2400 D.1140 H.700 SH.395mm	￥899,800~ ￥1,162,700~
両アーム	W.2060 D.875 H.700 SH.395mm	￥908,600~
ディープ	W.1315 D.1400 H.700 SH.395mm	￥939,400~

「DUNEの出発点となったのは、開かれたアームが、人を内側へ迎え入れるように感じられることでした。誰かをハグで迎えるように、『ここへどうぞ』と伝える感覚です。わずかに角度をつけたアームから、せり上がり、再び下がっていく長い背もたれへと曲線が連続することで、有機的で穏やかな動きが生まれています。カウチアングルの20°は、ソファ全体がひと続きのボリュームとして感じられることを大切にして導きました。座る場所を自由に選びながら、全員がひとつの座面を共有し、互いのつながりを感じることができます。開かれたアームから背もたれへと続く流動的なフォルムが、DUNEならではの調和と、人を迎え入れるような佇まいを形づくっています。」

John Astbury / ジョン・アストベリー

イギリス出身のデザイナー。2014年に自身のスタジオを設立し、現在はスウェーデン・ストックホルムを拠点に活動している。これまでスカンジナビアを代表する数々のデザインブランドと協働。素材、構造、フォルムを本質的な要素へとそぎ落としながら、普遍的な原型や基本形を起点としたデザインを手がけている。言語や象徴、体験を丁寧に読み解き、即時的な発想にとらわれないアプローチを大切にしている。



（価格はすべて税込み・オプションクッションは除く）

DITTO ディット　Design: John Astbury / ジョン・アストベリー

英語で『同じく』『繰り返し』を意味する**DITTO**（ディット）は、天板とベースのエッジが呼応するシンプルなデザインのコーヒーテーブルです。無垢材を丁寧に削り出すことで生まれる、なめらかな手触りと木そのものの温かみが特徴。装飾を抑えた端正なフォルムが、素材の美しさを引き立てます。サイズは520Φ × H.430mmと340Φ × H.480mmの2タイプを展開。高さと天板サイズの違いを生かし、過ごす場所や使い方に合わせて選ぶことができます。軽量な設計のため、必要な場所へ気軽に移動できることも特徴です。



コーヒーテーブル **DITTO** 520Φ H.430mm ¥191,400





DITTO（コーヒーテーブル）

本体：オーク材ウレタン塗装4色（スーパークリア、ブラウン、スーパーグレー、ダークグレー）

サイズ・価格

340Φ H.480mm	￥165,000
520Φ H.430mm	￥191,400

「最初に思い描いたのは、飲み物を置くテーブルが必要な人のそばへ、気軽に運べる『ゲストテーブル』です。小さなDITTOは、両手を天板の下に差し入れると、天板が手のひらに収まり、親指が緩やかな傾斜に自然に沿うよう形づくられています。持ち上げたときに感じる心地よさを、デザインを形づくる言語として取り入れました。私は反復が好きです。そこには遊び心と楽しさがあります。天板の形を異なる文脈でベースにも繰り返すことで、上から下へ響くechoのような関係が生まれました。この反復の考えが、『同じく』『繰り返し』を意味するDITTOという名前につながっています。木の温かさと木目の変化も、手で触れ、持ち上げ、暮らしの中で動かすこのテーブルの表情を豊かにしています。」

John Astbury / ジョン・アストベリー

イギリス出身のデザイナー。2014年に自身のスタジオを設立し、現在はスウェーデン・ストックホルムを拠点に活動している。これまでスカンジナビアを代表する数々のデザインブランドと協働。素材、構造、フォルムを本質的な要素へとそぎ落としながら、普遍的な原型や基本形を起点としたデザインを手がけている。言語や象徴、体験を丁寧に読み解き、即時的な発想にとらわれないアプローチを大切にしている。



（価格はすべて税込み）

ARRAY アレイ　Design: John Astbury / ジョン・アストベリー

本やアート、オブジェなど、置かれるものの魅力を引き立てるために生まれたシェルフ**ARRAY**（アレイ）。『配列』を意味する名前の通り、縦横のラインが織りなす構成が、空間に軽やかな秩序をもたらします。開発の出発点となったのは「収納するためだけではなく、ものを美しく見せるためのシェルフ」という発想。背板を設けず、どちらの面から見ても美しいデザインとすることで、人の気配や光、空気を遮らない心地よい抜け感を生み出しました。壁面に置くだけでなく、空間の中央でゆるやかな間仕切りとして使うこともできます。**ARRAY**は、H.410mm、H.720mm、H.1140mmの3タイプを展開。低いタイプはソファの背面やコンソールのように、高いタイプは視線を遮りすぎず、空間にほどよい境界をつくるシェルフとして、サイズによって異なる使い方ができます。



シェルフ **ARRAY** W.1695 D.380 H.720mm￥530,200 ラウンジチェア **ELSA** W.860 D.855 H.815 SH.360㎜ ￥995,500

置かれたものの魅力を引き立てる、艶を抑えた仕上げ

棚板には、光の反射を抑えた新しい艶消し仕上げを採用。木肌の素材感や手触りを生かしながら、置かれたものの色や質感をより美しく際立たせます。さらに、防汚性に優れたコーティングにより、アルコール濃度60%以下の除菌シートでふき取ることができ、日常のお手入れもしやすくなっています。





シェルフ **ARRAY** W.1695 D.380 H.1140mm￥760,100

ARRAY アレイ　Design: John Astbury / ジョン・アストベリー



シェルフ **ARRAY** W.1695 D.380 H.410mm￥401,500

ARRAY（シェルフ）

本体：オーク材ウレタン塗装4色（スーパークリア、ブラウン、スーパーグレー、ダークグレー）

サイズ・価格

W.1695 D.380 H.410mm	￥401,500
W.1695 D.380 H.720mm	￥530,200
W.1695 D.380 H.1140mm	￥760,100

彫刻のように楽しむ、天然大理石のブックエンド

ARRAY ACCESSORY（アレイ アクセサリー）は、ARRAYのディテールから着想した天然大理石のブックエンドです。マット仕上げの5種類を展開し、縦・横どちらの向きでも使用可能。ブックエンドとしてだけでなく、彫刻のようなオブジェとしても空間を彩ります。





ARRAY ACCESSORY（ブックエンド）

本体：大理石 マット仕上げ 5色（ビアンコカラーラ、エンペラドールダーク、グリージョカルニコ、ロッソレヴァント、ヴェルデアルピ）

サイズ・価格

W.185 D.110 H.210mm	￥63,800

「シェルフをデザインする面白さは、そこに置かれるもののために、どのような空間や余白をつくるかを考えることにあります。ARRAYは、ものを置いたり見せたりするための、小さな部屋が集まったようなシェルフです。開かれた部分と閉じられた部分、細い縦の仕切り板と厚みのある水平の棚板。そのバランスによって、本やオブジェを受け止める静かな存在感と、空間を緩やかに仕切る役割を両立させました。シェルフに置かれるものは、その人が人生の中で集めてきた大切なものです。ARRAYが、そこに置かれるものを主役として引き立てる舞台となり、たくさんの本で満たされた姿も、選び抜いた数点を丁寧に見せる姿も、それぞれの暮らしを美しく映し出してくれたらと思います。棚板の段の間隔と仕切り板の配置を細かく調整して生まれた静かな秩序が、ARRAYという名前にもつながっています。」

John Astbury / ジョン・アストベリー

イギリス出身のデザイナー。2014年に自身のスタジオを設立し、現在はスウェーデン・ストックホルムを拠点に活動している。これまでスカンジナビアを代表する数々のデザインブランドと協働。素材、構造、フォルムを本質的な要素へとそぎ落としながら、普遍的な原型や基本形を起点としたデザインを手がけている。言語や象徴、体験を丁寧に読み解き、即時的な発想にとらわれないアプローチを大切にしている。



（価格はすべて税込み）

ARTE アルテ　Design: LucidiPevere / ルチーディペーヴェレ

イタリア語で『芸術』『技術』を意味する**ARTE**（アルテ）は、視覚的なノイズを極限まで削ぎ落としたシンプルなデザインのダイニングテーブルです。脚部とフレームには無垢材を使用し、見た目にも手ざわりにも木の温もりを感じられる意匠を追求。天板や脚部、フレームの接合部にいたるまで角のない優しい曲線で繋ぐことで、空間の緊張感をほどき、安心感をもたらします。シンプルで端正な佇まいだからこそ、さまざまなデザインのチェアとも美しく調和します。



ダイニングテーブル **ARTE** W.2000 D.900 H.730mm ¥1,137,400 スツール **ALMA** W.460 D.390 H.460mm ¥137,500~ アームレスチェア **VERA** W.505 D.565 H.780 SH.460mm ¥181,500 アームチェア **VERA** W.560 D.565 H.780 SH.460mm ¥288,200

美しさと日常での扱いやすさを両立するセラミック天板

天板には、INALCO社の高性能セラミックMDi by Inalcoを採用。天然石を思わせる美しい表情を持ちながら、熱や傷、汚れに強く、日々の食事でも気兼ねなく使える実用性を兼ね備えています。

MDi by Inalcoとは
1972年創立のスペインの老舗セラミックメーカー INALCO社が誇るMDi by Inalcoは、素材選定から技術、製造プロセスに至るまで独自のイノベーションが組み込まれた最高峰のセラミック素材。主原料に厳選した高純度な天然鉱物（Minerals）を採用し、独自の「360°フルデジタル技術（Design）」で断面まで本物の石のような柄を表現。これらを高温・高圧で融合させる革新的な焼成プロセス（Innovation）により、熱や傷、汚れに極めて強い緻密で頑丈な素材を実現しています。





ARTE （テーブル）

天板： MDi by Inalco 3種（マサイ、ジャスパー、メテオラ）*セラミック天板
縁・脚部：オーク材ウレタン塗装4色（スーパークリア、ブラウン、スーパーグレー、ダークグレー）

サイズ・価格

W.1600 D.900 H.730mm	￥1,030,700
W.1800 D.900 H.730mm	￥1,072,500
W.2000 D.900 H.730mm	￥1,137,400
W.2200 D.1000 H.730mm	￥1,188,000
W.2400 D.1000 H.730mm	￥1,259,500

「私たちが目指したのは、年月を経ても古びない普遍性を持たせながら、4本脚のテーブルだからこそ重要となる脚と天板の接合部などのディテールにこだわることでした。外から見るとシンプルな構造に見えますが、その内部には安定性や強度を保つためのさまざまな工夫が施されています。特に、木だけで軽やかな佇まいと十分な強度を両立させるため、アルフレックスと何度もプロトタイプを重ねながら開発を進めました。また、無垢材を用い、木に見えるものではなく『木そのもの』を使うことを大切にしたARTEを、私たちは『Honest　Product』と表現します。テーブルを単なる食事のための家具ではなく、人が集まり、食事や会話を楽しみ、ともに時間を過ごす『場所』と捉え、その存在が日々の暮らしの中で長く愛されることを願っています。」

LucidiPevere / ルチーディペーヴェレ

パオロ・ルチーディとルカ・ペーヴェレの2人がミラノの大学を卒業後、経験を経て2006年にルチーディペーヴェレとしてスタジオを設立。新技術と審美眼で新しいデザインを生み出し続けている。家具、照明、水回りなど多数の著名ブランドとのコラボレーションで注目を集めるほか、多数の賞を受賞している。現在はイタリア パルマノーヴァ在住。



Photo/ Claudio Cescutti

（価格はすべて税込み）

ORTO オルト　Design: Jun Yasumoto / 安本 純

イタリア語で『直交』『直角』を意味する ortogonale から名づけられた**ORTO**（オルト）は、座枠に対して脚部と背が直交する、端正な佇まいのダイニングチェアです。スチールパイプを用いた細く軽快な脚部が、空間に心地よい抜けをもたらします。垂直に伸びる脚は、複数台を並べた際にもすっきりとした印象を保ち、整然とした美しい景色をつくります。シンプルな造形を、細部まで精度を追求して形にするとともに、シートとバックレストは簡単に着脱できるよう設計しました。日々のメンテナンスがしやすく、住まいや好みの変化に合わせて張り地を替え、フレームとの新たな組み合わせを楽しむこともできます。幅420mmというコンパクトな設計ながら、奥行きは525mmとゆとりを持たせ、高さと緩やかなアールを備えたバックレストが背中を心地よく支えます。フレームはメタリックグレー、グロッシーアイボリー、グロッシーレッドの3色展開。張り地とフレームとの組み合わせによって、さまざまな表情を生み出します。



チェア **ORTO** W.420 D.525 H.820 SH.462mm（脚先パーツ スリップ）
￥194,700~ ダイニングテーブル **ARTE** W.2000 D.900 H.730mm ￥1,137,400~

簡単に着脱できるカバーリング仕様

シートとバックレストは、日常のお手入れがしやすいカバーリング仕様。フレームはそのままに、張り地を替えることで印象を変えながら長く使えます。



アルミとスチール、適材適所で生み出す一体構造

ORTOはアルミダイキャストの座枠にスチールパイプの脚部を組み合わせ、背フレームをスチールパイプとスチールプレートで構成しています。複雑な形状を一体成形できるアルミダイキャストを座枠に用いることで、繊細なエッジや脚部へとつながる滑らかなラインを描きながら、スチール部材との接合強度を確保し、異素材の継ぎ目まで美しく収める高い精度を実現。一方、脚部や背フレームには、曲げや溶接などの加工性に優れ、必要な強度を確保できるスチールを採用しています。それぞれの素材と製法の特性を役割に応じて生かし、異素材の境界を感じさせない一体感のある造形に仕上げることで、ORTOならではのシャープで軽快な佇まいを生み出しています。

ORTO （チェア）

座枠：アルミ粉体塗装
脚部・背：スチール粉体塗装 3色 （メタリックグレー、グロッシーアイボリー、グロッシーレッド）

サイズ
W.420 D.525 H.820 SH.462mm（脚先パーツ スリップ） ￥194,700~
W.420 D.525 H.823 SH.465mm（脚先パーツ フェルト） ￥194,700~

「ORTOは『視覚的にも物理的にも軽さのある、シンプルな住宅向けのダイニングチェア』という考えを出発点に生まれました。まず取り組んだのは、以前から挑戦したいと考えていた垂直の脚です。そこを起点に造形を検討し、次にさまざまな姿勢で座れることと、椅子そのものの佇まいをやわらげるため、背もたれの上部に緩やかなカーブを持たせました。さらに、細く軽やかなシルエットを実現するためにアルミニウムの使用を決め、その後、より高い剛性が求められる脚部や背フレームにはスチールを採用しています。また、背もたれを取り外せる仕様など、開発の過程でアルフレックスから生まれた提案も反映しています。プロダクトとして、美しいプロポーションと機能性は矛盾しないと思っています。初めての協働でしたが、アルフレックスが得意とする部分は任せながら一緒に完成度を高めることができました。座枠から脚へとつながる面の流れや生まれる影、滑らかな丸み、触れたときの感覚まで、細部を何度も調整しました。使い続けるうちに、購入したときには気づかなかった新たな一面に出会い、少しずつ愛着が深まっていく。そんなチェアになればうれしいです。」

Jun Yasumoto / 安本 純

東京生まれ。2001年にENSCI-Les Ateliers（パリ）を卒業後、フリーランスデザイナーとして活動を開始。2002年からJasper Morrison Office for Designでアシスタントデザイナーを務め、家具、プロダクト、照明、テーブルウェアなど数多くのデザインプロジェクトに携わる。現在はパリを拠点に生活・活動しながら、イタリア、フランス、スペイン、アメリカ、日本のクライアントとともに独自のキャリアを築いている。2023年より株式会社オリバーの家具シリーズ「+U」のデザインディレクターおよびデザイナーを務める。



（価格はすべて税込み）

ALMA アルマ　Design: Patrick Norguet / パトリック・ノルゲ

パリにあるアルマ広場（Place de l’Alma）にちなみ名づけられた**ALMA**（アルマ）は、特徴的なくびれのあるシルエットと、柔らかなシワの表情が印象的なスツール・プフです。くびれによってカバーに生まれる自然なシワが、シンプルなフォルムに変化を与え、空間にさりげないアクセントを添えます。プフは、コンパクトな空間にも取り入れやすいサイズとし、ソファのオットマンとしても使いやすい高さに設定。スツールとともに、置く場所や過ごし方に応じて幅広く使えるプロポーションとしています。



プフ **ALMA** W.700 D.560 H.370mm ¥178,200~ ソファ **DUNE** 〈両アーム〉W.2060 D.875 H.700 SH.395mm ¥908,600~ コーヒーテーブル **TROCADERO** 〈WOOD〉W.400 D.415 H.450mm ¥235,400



プフ **ALMA** W.700 D.560 H.370mm ¥178,200~ スツール **ALMA** W.460 D.390 H.460mm ¥137,500~ シェルフ **ARRAY** W.1695 D.380 H.1140mm ¥760,100



豊かな表情と心地よさを生む、柔らかなフォルム

カバーのくびれ部分にはゴム紐を仕込み、かぶせるだけで自然にフィットする仕様に。生地に生まれるやわらかなシワが、ALMAならではの豊かな表情をつくります。また、スラブウレタンが身体を優しく受け止め、包み込まれるような座り心地を実現。底面には滑りやすいプラパートを採用し、暮らしの中で場所を移しながら、自由な使い方を楽しめます。

ALMA （スツール・プフ）

本体：ポリエチレン、合板、スラブウレタン
※張り地はファブリックのみ

サイズ・価格

スツール	W.460 D.390 H.460mm	￥137,500~
プフ	W.700 D.560 H.370mm	￥178,200~

「ALMAは、長年にわたり日本の人々の暮らし方や空間との関係を観察してきた経験が、そのプロポーションや使い方に反映されています。フットレストやテーブルを囲むシート、低いテーブルと組み合わせたスツールなど、ひとつの用途に限定されず、暮らしの中で自由に使える存在を目指しました。特徴的なシルエットは、『コルセット』のように腰をきゅっと絞るという発想をベースにしています。着物や伝統的な侍の衣装への敬意も背景にあり、帯のように腰を包み、その輪郭を際立たせるフォルムを取り入れています。生地に自然に生まれる折り目が、シンプルなデザインに独特の緊張感と個性を与えています。また、ALMAはひとつの場所や使い方に縛られない『ノマディック』なプロダクトでもあります。空間から空間へと自由に移動し、さまざまなインテリアやライフスタイルに寄り添う。それぞれの暮らしの中で新しい使い方や表情を見つけてもらえることを願っています。」

Patrick Norguet / パトリック・ノルゲ

パリ在住。数々の国際的な家具ブランドとのコラボレーションの他、国内外のホテルやラグジュアリーファッションブランドのブティック、レストランのインテリアデザインまで幅広くプロジェクトを行う。工業製品としてのものづくりへのこだわりは高く評価されており、1999年にデザインした代表作「Rainbow Chair」はMoMAのコレクションに選ばれている。



（価格はすべて税込み・オプションクッションは除く）

ODEON LOUNGE オデオン ラウンジ　Design: Patrick Norguet / パトリック・ノルゲ

ODEON LOUNGE（オデオン ラウンジ）は、ソファODEONが備える、身体全体をやさしく受け止める掛け心地を受け継ぎ、より深くくつろぐことができるラウンジチェアです。シャープな骨格とメタルレッグが描く端正な輪郭に、パネルからふんわりとはみ出すアームクッションや、ギャザーを寄せたバッククッションを組み合わせ、やわらかな表情を加えています。身体を預けるとふっくらとした布団に包まれるような心地よさがありながら、深く沈み込みすぎない掛け心地に仕上げています。座面にはメッシュ構造を取り入れ、適度な沈み込みと身体を支える安定感を両立。バッククッションは腰まわりのクッション性を高めて身体をしっかりと支えることで、長時間でも快適にくつろげる掛け心地に仕上げています。





ラウンジチェア**ODEON LOUNGE** W. 970 D.896 H.1020 SH400 ￥698,500~ サイドテーブル **DITTO** 520Φ H.430mm ¥191,400 プフ **ALMA** W.700 D.560 H.370mm ¥178,200~

7つのウレタンパーツで、柔らかさと支持力を両立

シートクッションは、硬さや反発力の異なる計7つのウレタンを組み合わせて構成しています。身体が触れた瞬間には、低反発ウレタンによるもっちりとした柔らかさを感じ、その下には高い復元力を備えたウレタンを配置。さらに下層の硬めのウレタンが身体をしっかりと支え、前滑りを抑えます。柔らかく包まれる感覚と、深く沈み込みすぎない安定した掛け心地を両立しています。

ODEON LOUNGE （ラウンジチェア）

脚部:アルミ粉体塗装 4色（グロッシーダークブラウン、グロッシーレッド、グロッシーアイボリー、メタリックグレー）

サイズ・価格
W. 970 D.896 H.1020 SH.400　￥698,500~

「ODEON LOUNGEは、装飾芸術の伝統と現代性が対話する『新しいクラシック』として、ODEONコレクションに新たな心地よさを加えました。目指したのは、ダイナミックでありながらコンパクトなラウンジチェアです。シンプルなデザインだからこそ、幅や奥行きを含めたプロポーションを細部まで見極め、『ちょうどよい』バランスを追求しました。私は心地よさを2つの段階で捉えています。まず、一目見た瞬間に座りたくなるような『視覚的な心地よさ』。そして、実際に身体を預けたときに感じる『人間工学的な心地よさ』です。その両方を通して、読書や会話、思索、リラックスなど、自分の時間をゆっくりと楽しんでもらえる存在を目指しました。」

Patrick Norguet / パトリック・ノルゲ

パリ在住。数々の国際的な家具ブランドとのコラボレーションの他、国内外のホテルやラグジュアリーファッションブランドのブティック、レストランのインテリアデザインまで幅広くプロジェクトを行う。工業製品としてのものづくりへのこだわりは高く評価されており、1999年にデザインした代表作「Rainbow Chair」はMoMAのコレクションに選ばれている。



（価格はすべて税込み）

SONARE ソナーレ　Design: C.O.D. / シー・オー・ディー

UPDATED MODEL

『奏でる』を意味するイタリア語“suonare”に由来する**SONARE**（ソナーレ）は、約25年間にわたり愛されてきたソファSONAの伸びやかな佇まいを継承し、これからの時代のベーシックとして進化したソファです。SONAは、家族構成やライフスタイルに合わせてユニットを組み合わせ、それぞれが自由にくつろぎながら、ひとつの大きな“和音”を奏でるという考えから生まれました。**SONARE**では、その思想と、SONAらしい、水平に伸びやかなシルエットとアーム部分の特徴的な傾斜を受け継ぎながら、シートの厚みや奥行き、クッション、細部のディテールを再設計しています。



ソファ **SONARE** W.3165 D.2205/960 H.640 SH.400mm ¥1,934,900~ スツール **PI** 1150Φ H.330mm ¥260,700~ コーヒーテーブル **DEW COFFEE TABLE** W.900 D.740 H.375mm ¥893,200 シェルフ **ARRAY** W.1695 D.380 H.410mm ¥401,500

暮らしに合わせて広がる構成と、進化した座り心地

SONAREは、現代の多様なリビング空間に対応する豊富なユニットバリエーションを展開。幅約2000mmの片アームユニットを追加し、セットモデルのSONARE DUOもラインアップ。バッククッションやシリンダー付クッション、2サイズのミニクッションなど、用途や好みに合わせた自由なスタイリングを楽しめます。また、現在のウレタン技術を採用し、座り心地をアップデート。SONAの魅力を受け継ぎながら、シートやクッションの構成を細部まで見直し、より快適で、長く使い続けられる耐久性を追求しました。



SONARE（ソファ）

本体：合板、ウレタン（一部にバイオマス由来30%配合のスラブウレタンを使用）、ポリエステル綿
シート：ウレタン、ポリエステル綿
クッション：再生マイクロファイバー（再生素材50%使用）、再生ポリエステル生地
ユニットバリエーション：片アーム（ハイアーム / ローアーム）、アームレス、シェーズロング、シート

「SONAREの前身であるSONAは、家族のかたちや暮らし方に合わせて様々なユニットを組み合わせ、ひとつの大きな“和音”をつくるという思想から生まれたソファです。今回のアップデートで大切にしたのは、その思想をきちんと受け継ぐことでした。長く愛されてきたSONAだからこそ、変えること自体を目的にするのではなく、SONAらしい水平に広がるフォルムや背もたれの傾斜といった特徴を残しながら、約25年以上の間に進化した技術を取り入れ、座り心地やディテールを磨きました。SONAが長い時間をかけて『完成されたスタンダード』となったように、SONAREもまた流行に左右されることなく、これからの家族の暮らしに寄り添い続ける、新しいスタンダードを目指しています。」

C.O.D. / シー・オー・ディー

アルフレックスジャパン創業者　保科正が、1998年北マリアナ諸島連邦（サイパン島）に設立したデザインチーム。「時代が移り変わっても大切に使われる＜もの＞を創造する」というセオリーに基づき、長年アルフレックスジャパンのための製品デザインを手掛けてきた。2015年より活動拠点を東京に移し従来から共に活動してきたプロダクトデザイナーの藤戸琢也と共に広く新しいライフスタイルの造形に挑戦している。



Photo/ Futoshi Osako

（価格はすべて税込み・オプションクッションは除く）

VITA ヴィータ　Design: C.O.D. / シー・オー・ディー

UPDATED MODEL

イタリア語で『生活』を意味する**VITA**（ヴィータ）は、長年愛されてきた一本脚のテーブルCOLUMNの優れた構造を継承し、まるで彫刻のような美しいフォルムへと進化を遂げたダイニングテーブルです。継ぎ目のない一体型のアルミ鋳物脚を採用し、美しく、なめらかなくびれを描く意匠は、存在感がありながらも空間に心地よい余白を生み出します。大きな天板でも揺らがない安定性を備え、一本脚ならではのすっきりとした造形と、人数や過ごし方に合わせて座る位置を選べる自由さを実現しています。



ダイニングテーブル **VITA** 1500Φ H.732mm ¥1,260,600 チェア **FLUTE** W.555 D.550 H.755 SH.450mm ¥162,800~



空間に合わせて選べる、素材とサイズのバリエーション

天板には高機能セラミック「MDi by Inalco」3種と木質仕上げ4色をラインナップ。脚部とアンダートップはマットホワイトとサンドダークブラウンの2色から選べます。サイズはセラミック・木質天板ともに1200Φ、1350Φ、1500Φの全3サイズを揃えています。

VITA （ダイニングテーブル）

天板： MDi by Inalco 3種（マサイ、ジャスパー、メテオラ）、
オーク材ウレタン塗装4色（スーパークリア、ブラウン、スーパーグレー、ダークグレー）
脚部：アルミ粉体塗装 2色（マットホワイト、サンドダークブラウン）

サイズ・価格

	MDi by Inalco	木質天板
1200Φ H.732mm	￥1,603,800	￥1,024,100
1350Φ H.732mm	￥1,722,600	￥1,151,700
1500Φ H.732mm	￥1,841,400	￥1,260,600

「VITAの原点にあるのは、前身のCOLUMNから受け継いだ、薄い天板と一本脚によるシンプルで合理的な構造です。一本脚だからこそ座る場所を選ばず、ひとりで過ごすときも、人が集まるときも、それぞれが自由な位置で過ごすことができます。また、円形のテーブルには、自然と人が集まり、コミュニケーションが生まれる良さがあると考えています。VITAでは、そうした本質を残しながら、一本脚を、なめらかなくびれを持つ彫刻的なフォルムへと進化させました。デザインを考えるうえで大切なのは、『思想・デザイン・構造』の三つがひとつになっていること。美しい形であることに加え、日常の中で安心して使える強度や安定性まで含めて、ひとつのデザインとして成立させています。VITAという名前が示すように、目指したのは、暮らしの中で団らんの中心となるテーブルです。時代が変わっても、人が集まり、食事をし、会話をし、それぞれの時間を過ごすという暮らしの本質は変わりません。VITAが人々の暮らしに寄り添い、日々の時間を豊かにする存在になってほしいと願っています。」

C.O.D. / シー・オー・ディー

アルフレックスジャパン創業者　保科正が、1998年北マリアナ諸島連邦（サイパン島）に設立したデザインチーム。「時代が移り変わっても大切に使われる<もの>を創造する」というセオリーに基づき、長年アルフレックスジャパンのための製品デザインを手掛けてきた。2015年より活動拠点を東京に移し従来から共に活動してきたプロダクトデザイナーの藤戸琢也と共に広く新しいライフスタイルの造形に挑戦している。



Photo/ Futoshi Osako

（価格はすべて税込み）

Art Direction for 2026-27 COLLECTION

Nicola Gallizia ニコラ・ガリッツィア



arflex 2026-27 COLLECTIONでは、アートディレクターとしてイタリア人建築家・デザイナーのニコラ・ガリッツィア氏を迎えました。ガリッツィア氏はこれまでアルフレックスジャパンと数多くのプロジェクトで協働し、近年では麻布台ヒルズレジデンスB棟内のサービスアパートメントをはじめ、さまざまな物件のインテリアデザインや家具のセレクトを手掛けています。arflexが半世紀以上にわたり日本で培ってきたものづくりと、その哲学を深く理解するガリッツィア氏の美意識を重ねることで、今回のコレクションを伝えるビジュアルの世界観を構築しました。撮影やスタイリングに加え、カタログのビジュアルディレクションから、WEBやカタログで使用するカラー設計まで幅広く携わり、表現全体を一貫してディレクションしています。

今回の撮影は全編、arflexのライフスタイル提案施設「カーサミア河口湖」で実施。4つの「CASA」ごとに異なる空間の表情とカラーパレットを設定し、家具単体ではなく、空間、素材、自然光と陰影が生み出す空気感まで丁寧に構成しました。ブランドの思想を体現するこの場所に、ガリッツィア氏ならではの解釈を重ねることで、心から安らげる住まいの景色を描き出しています。

「arflexには創業以来受け継がれてきた、確かなイタリアのDNAがあります。今回のビジュアルディレクションでは、そのイタリアに由来する感性と日本の住まいのスケールや特性を響き合わせ、arflexが日本の暮らしの一部となる姿をリアルに表現したいと考えました。さまざまな製品、素材、仕上げを組み合わせることで、一人ひとりが自分らしさを映し出す空間をつくることができます。暮らし方を通して、自分自身の個性を自由に表現できること。それこそが、私にとって最も本質的な洗練です。」



Art Director

Nicola Gallizia

ニコラ・ガリッツィア

1990年にLuca Medaのアシスタントとして、Molteni&C / Dada SPAのプロダクトイメージ制作に従事。1999年に独立し、ミラノに自身のスタジオを設立。建築、インテリア、家具等のプロダクトデザインの他、アートディレクションなど、幅広い分野のデザインを手掛ける。